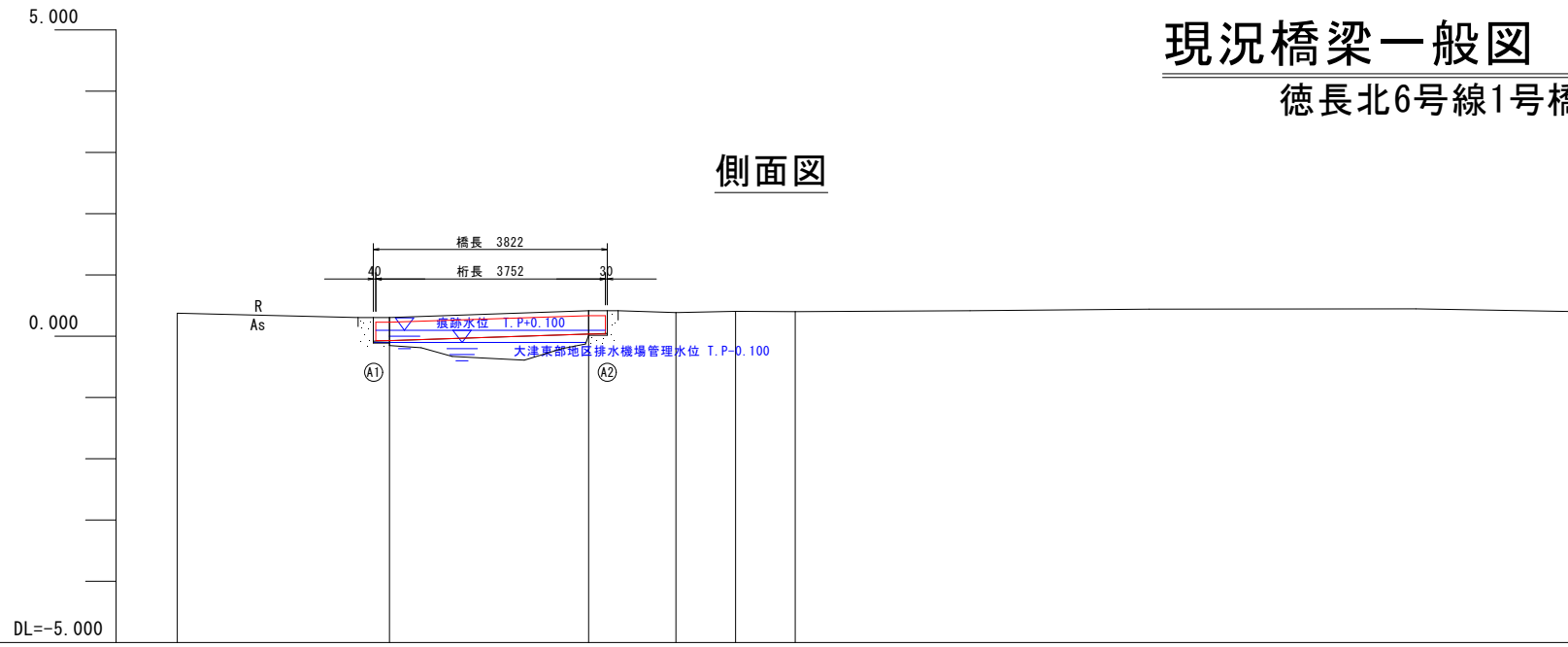


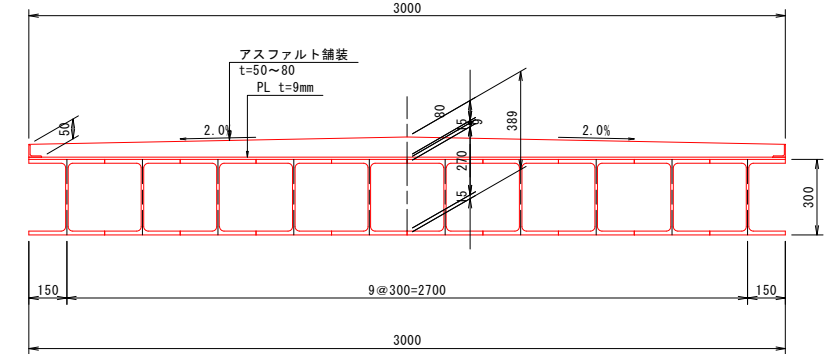
現況橋梁一般図 S=1:60

徳長北6号線1号橋

側面図

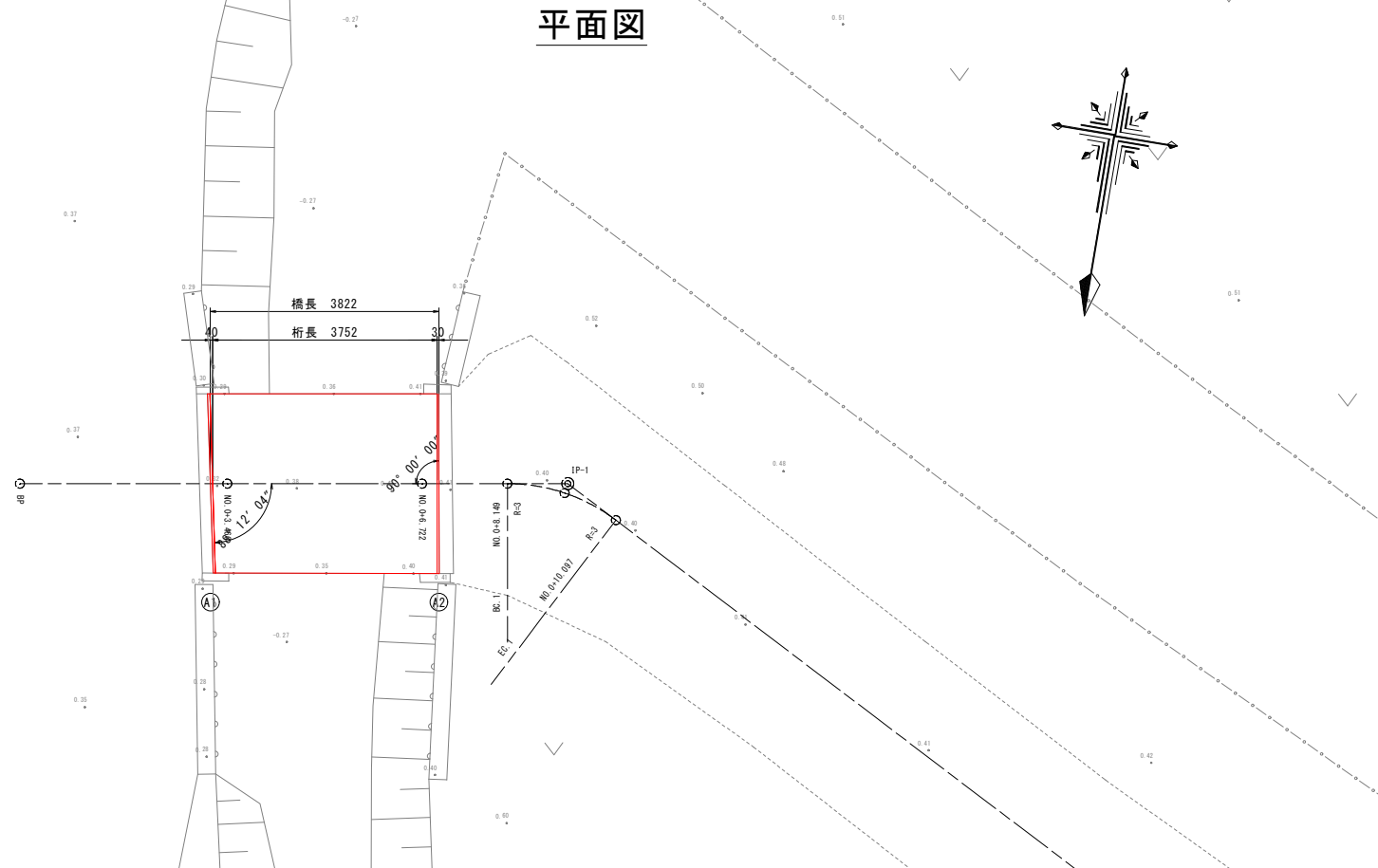


断面図 S=1:15



計画高										
地盤高	0.38	0.31	0.42	0.39	0.41	0.40	0.40			
追加距離	0.000	3.204	6.722	8.149	9.122	10.096	22.912			
単距離	0.000	3.204	3.256	1.123	0.973	0.974	12.816			
測点	BP	+3.204 +3.466	+6.722 +7.026	BC-1	SP-1	EC-1	EP			
曲率図										

平面図



設計条件

道路条件	
路線	市道 徳長北6号線
道路規格	-
設計速度	-
設計荷重	TL-20
大型車交通量	不明
計画交通量	不明
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	徳長北6号線1号橋
橋長	3.822m (CL上)
桁長	3.752m (CL上)
支間長	不明
総幅員	3.000m
有効幅員	3.000m
斜角	$\theta = 88^\circ 12' 04''$ (A1), $90^\circ 00' 00''$ (A2)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	$\angle 2.8\%$
横断勾配	2%拌み勾配
構造形式	
上部工	単純H型鋼
舗装	アスファルト舗装 t=50~80mm
下部工	重力式橋台2基
基礎工	不明
支承	不明

図面番号	第 1 号	図面総数	全 7 葉
工事名称	徳長北6号線1号橋橋梁補修工事		
図名	現況橋梁一般図		
製作年月	令和4年9月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

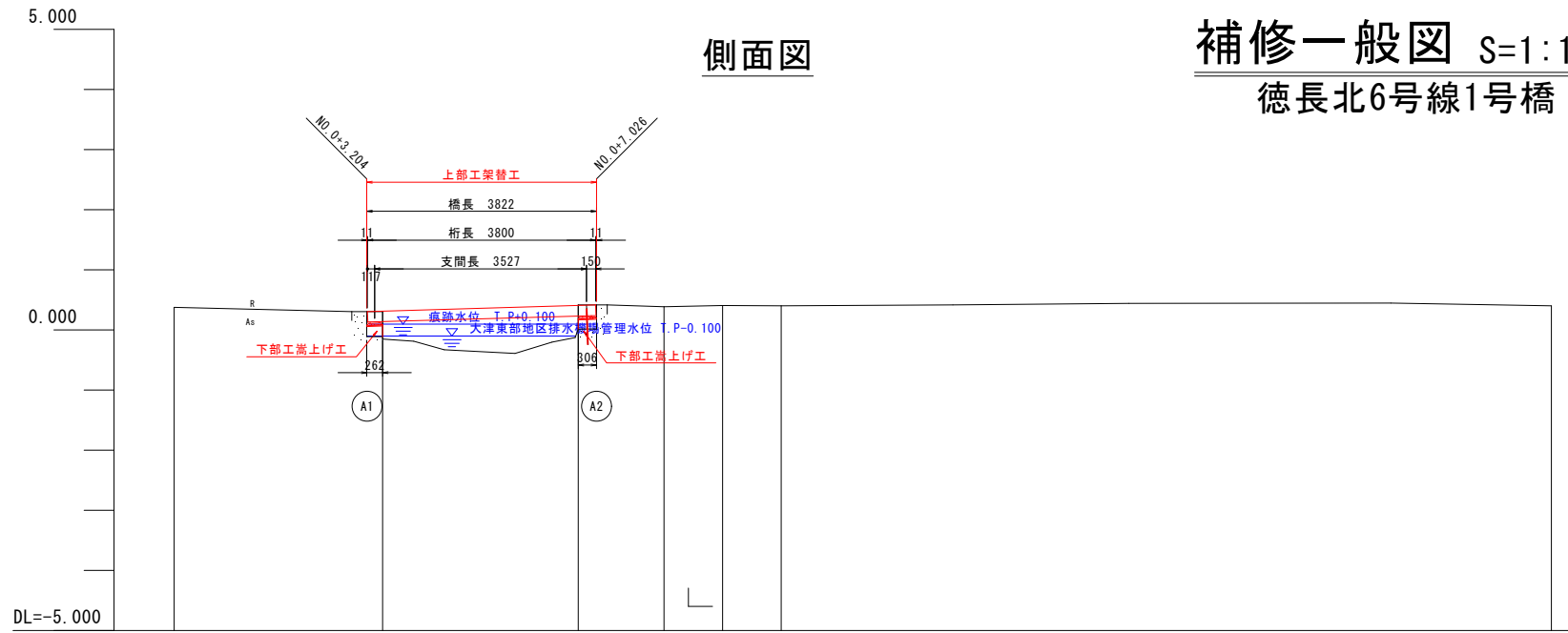
注記

- 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
- 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

補修一般図 S=1:100

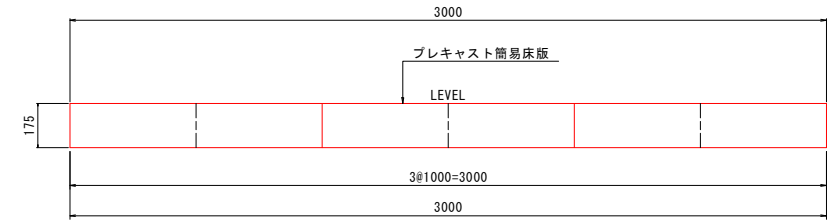
徳長北6号線1号橋

側面図



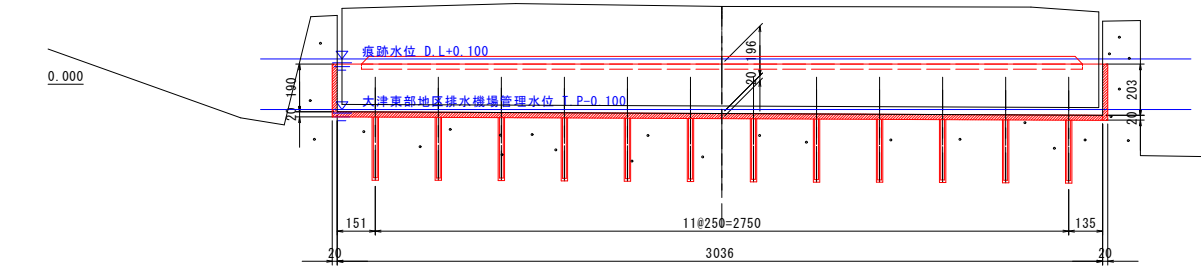
勾配	0.308 (i=2.826%, L=3.822m)		0.416 (i=1.081%, L=3.822m)	
計画高	0.308	0.407	0.416	0.416
地盤高	0.31	0.42	0.41	0.40
追加距離	3.204	6.722	7.026	22.912
単距離	3.204	3.256	1.123	12.816
測点	BP	BC.1	SP.1	EP
曲率図	-			

上部工断面図 S=1:15

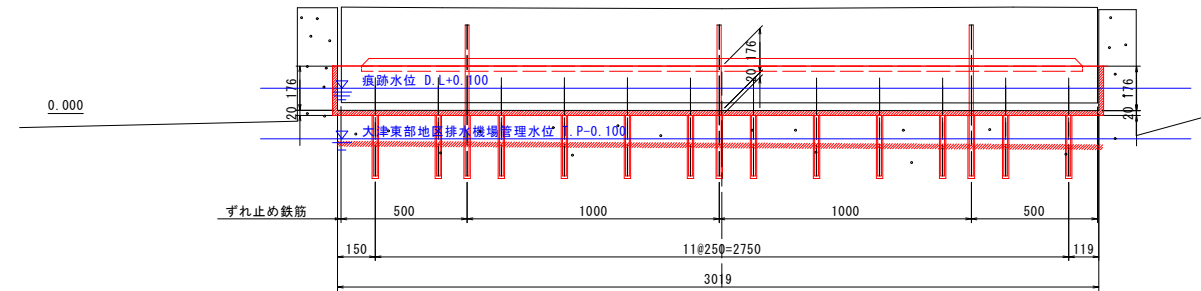


下部工正面図 S=1:15

A1橋台



A2橋台



設計条件

道路条件	
路線	市道 徳長北6号線
道路規格	-
設計速度	-
設計荷重	T-6
大型車交通量	不明
計画交通量	不明
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	徳長北6号線1号橋
橋長	3.822m (CL上)
桁長	3.800m (CL上)
支間長	-
総幅員	3.000m
有効幅員	3.000m
斜角	$\theta = 88^\circ 12' 04''$ (A1), $90^\circ 00' 00''$ (A2)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	$\nabla 2.8\%$
横断勾配	LEVEL
構造形式	
上部工	プレキャスト簡易床版
舗装	-
下部工	重力式橋台2基
基礎工	不明
支承	ゴム嵩 (STパッド同等品以上)
材料の条件	
上部	コンクリート $\sigma_{ck}=35\text{N/m}^3$
下部	鉄筋 SD295

【補修項目】

工法	判定区分	部材	規格	単位	数量	備考
上部工架替工	III	上部工	T-6	枚	3	
下部工嵩上げ工	-	下部工		基	2	

注記

- 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
- 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

図面番号	第 2 号	図面総数	全 7 葉
工事名称	徳長北6号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図		
製作年月	令和4年9月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

下部工嵩上げ構造図 S=1:15

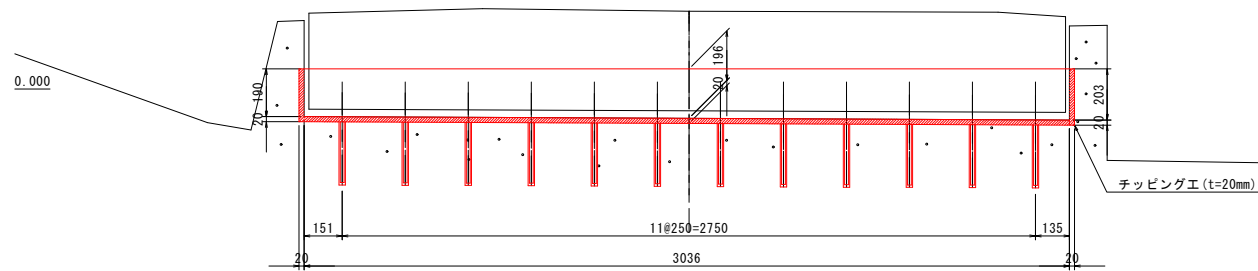
徳長北6号線1号橋

A1橋台

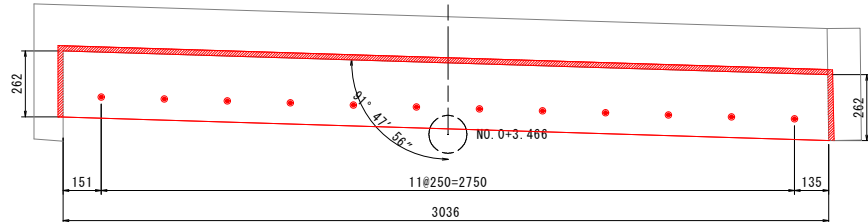
NO. 0+3.466

GH=0.308
FH=

正面図



平面図

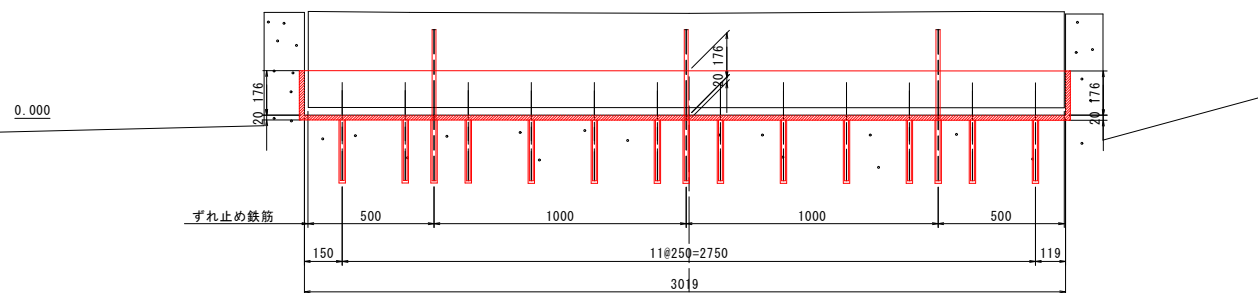


A2橋台

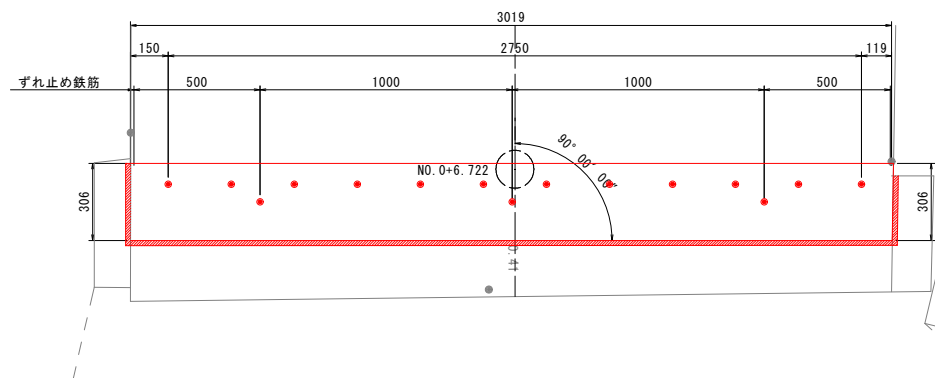
NO. 0+6.722

GH=0.416
FH=

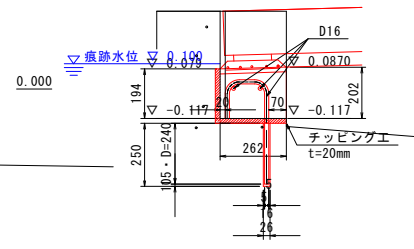
正面図



平面図

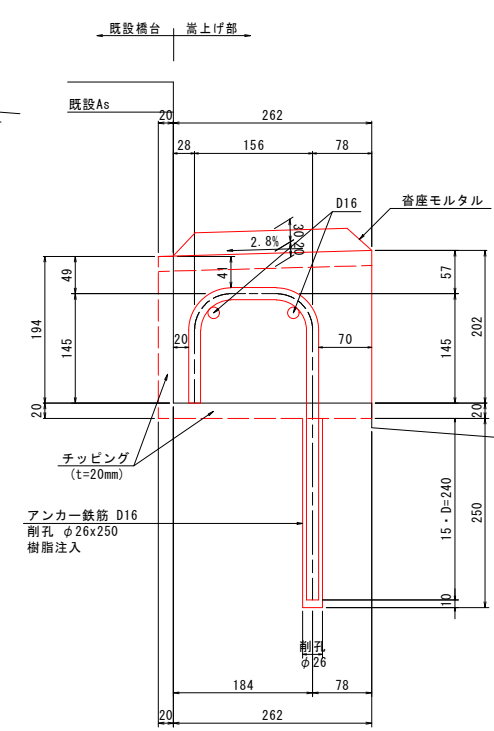


側面図

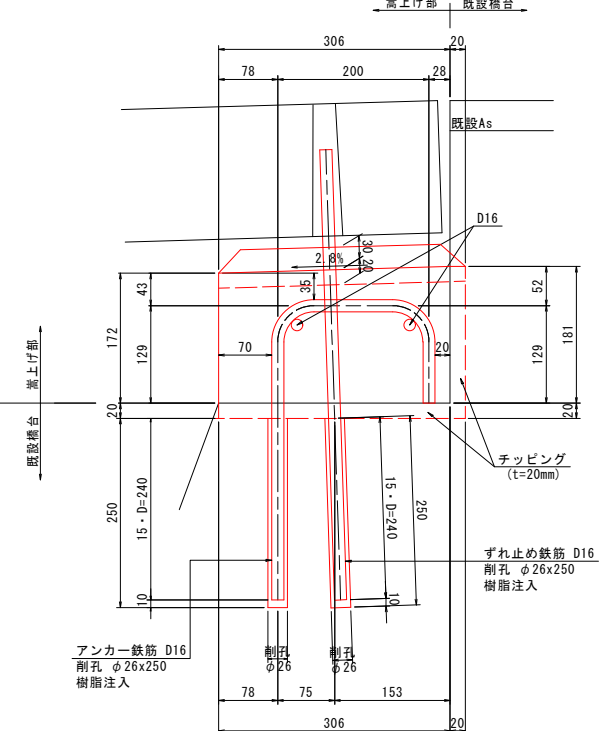


かぶり詳細図 S=1:5

A1橋台



A2橋台



注記

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

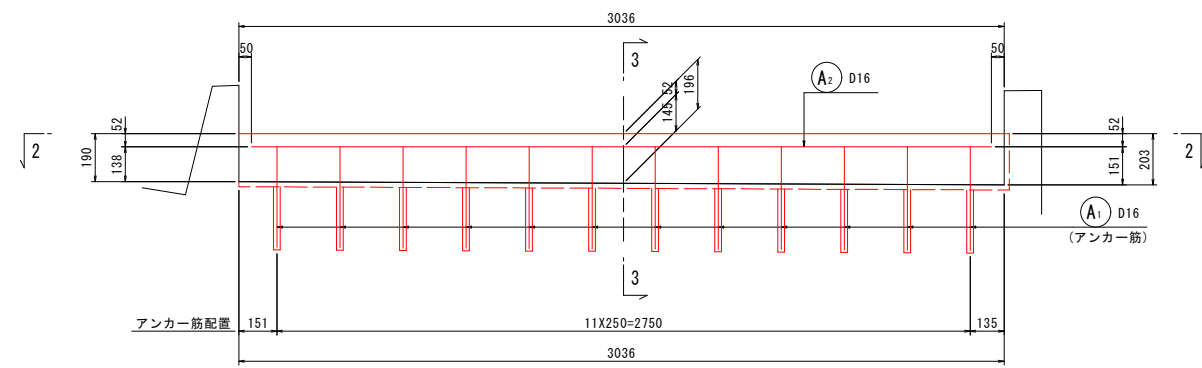
図面番号	第 4 号	図面総数	全 7 葉
工事名称	徳長北6号線1号橋橋梁補修工事		
図名	下部工嵩上げ構造図		
製作年月	令和4年9月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

下部工嵩上げ配筋図 S=1:15

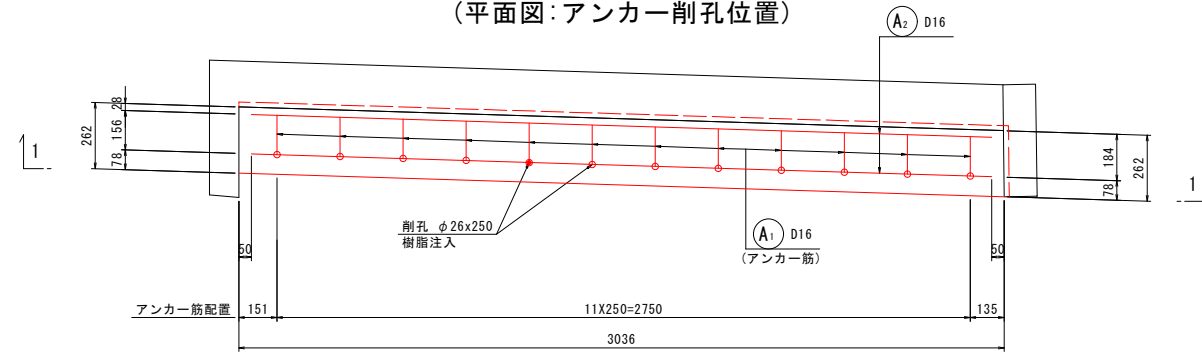
徳長北6号線1号橋

A1橋台

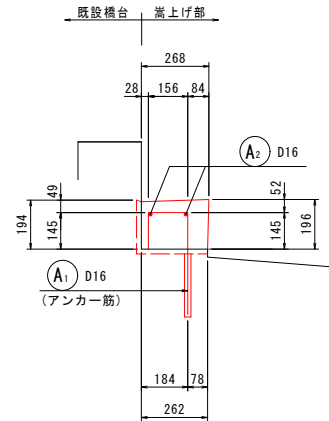
1-1
(正面図)



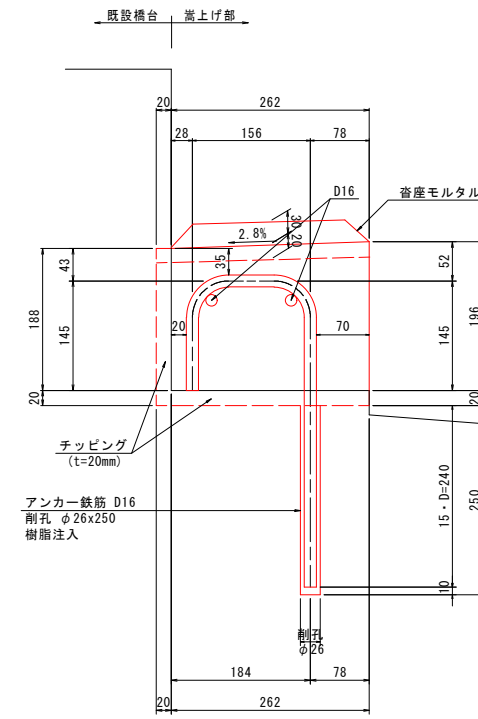
2-2
(平面図: アンカー削孔位置)



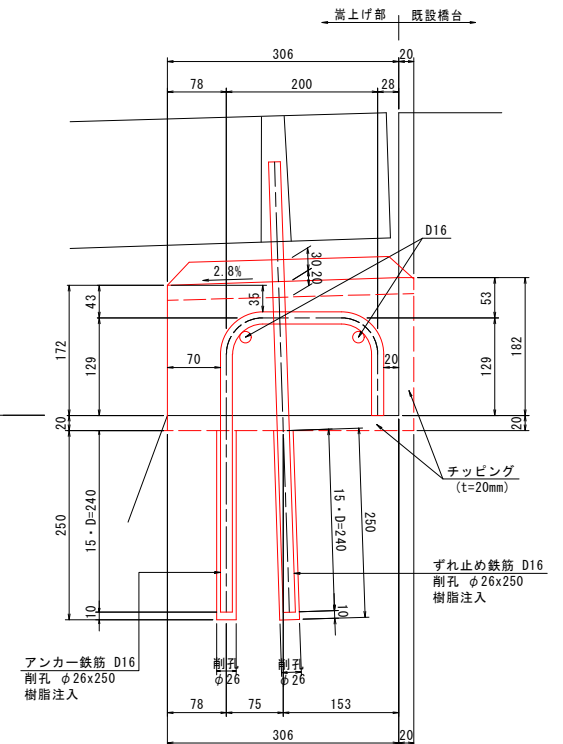
3-3
(断面図)



A1橋台

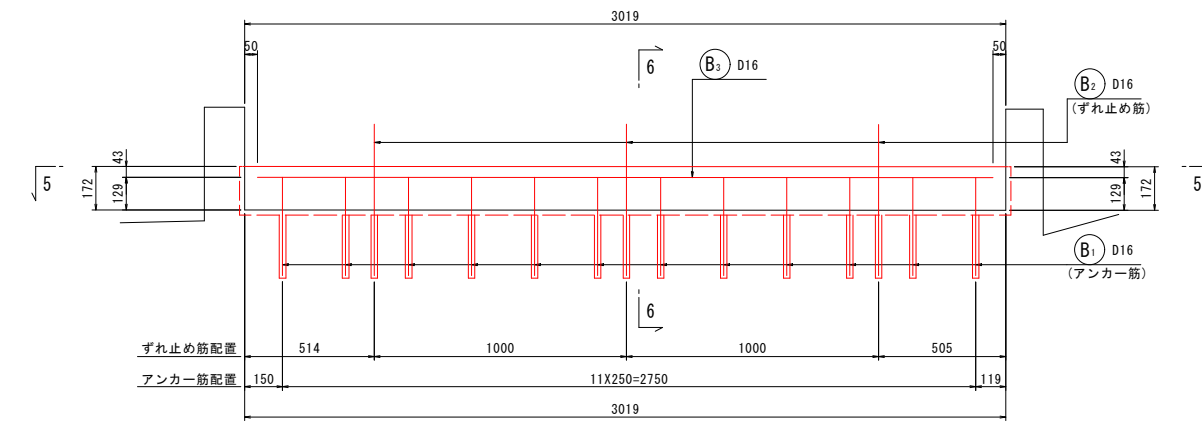


A2橋台

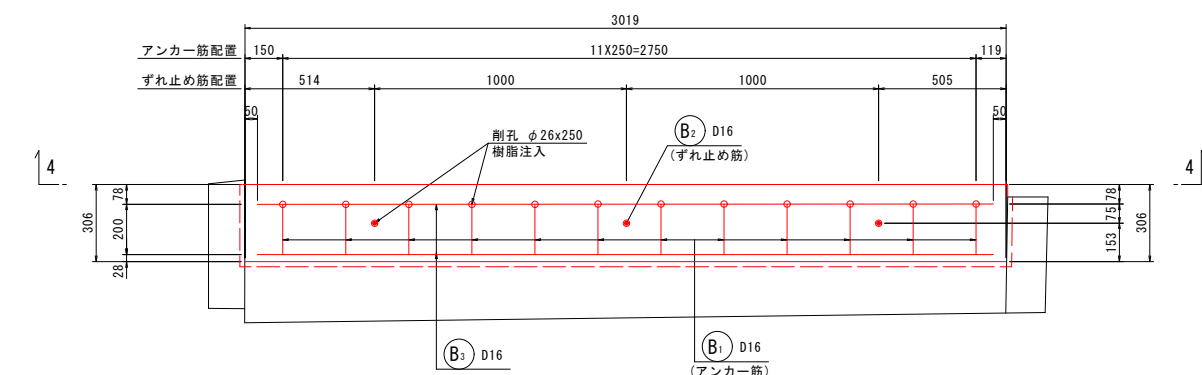


A2橋台

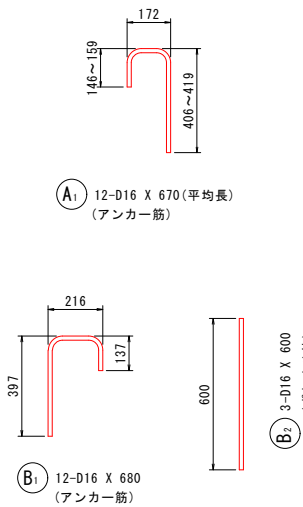
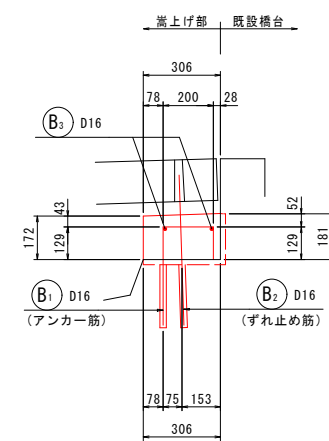
4-4
(正面図)



5-5
(平面図: アンカー削孔位置)



6-6
(断面図)



鉄筋質量表 (SD345)

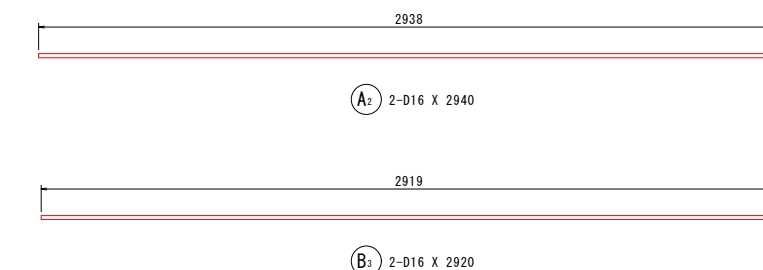
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
A1	D16	670	12	1.56	1.05	13	平均長
A2	D16	2940	2	1.56	4.59	9	
							22
B1	D16	680	12	1.56	1.06	13	
B2	D16	600	3	1.56	0.94	3	
B3	D16	2920	2	1.56	4.56	9	
							25
合計 D16				47 kg			
総質量				47 kg			

注記

- ※コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。
- ※施工に先立ち現地実測を行い形状決定を行うこと。
- ※既設コンクリートへの削孔の際は鉄筋探査を実施して既設鉄筋を切断しないように十分注意をすること。
- ※現地でアンカー鉄筋の配置位置を変更する場合は、有効高が高くなる方向に変更すること。
- ※アンカー鉄筋の定着は既設橋台面より15・D以上を確保すること。
- ※コンクリート打設後、十分な養生を行うこと。
- ※削孔径は、鉄筋径+10mm程度とする。

注記

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

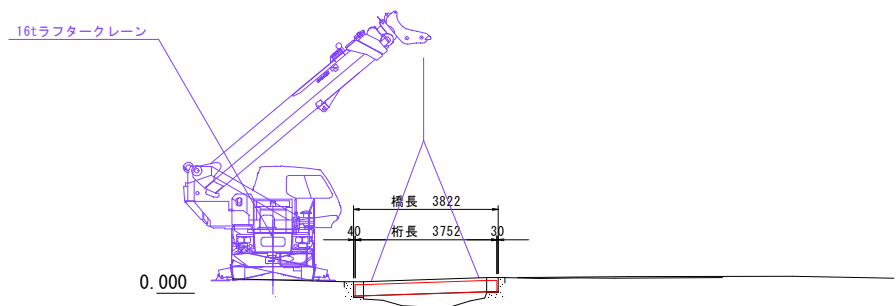


図面番号	第 5 号	図面総数	全 7 葉
工事名称	徳長北6号線1号橋橋梁補修工事		
図名	下部工嵩上げ配筋図		
製作年月	令和4年9月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

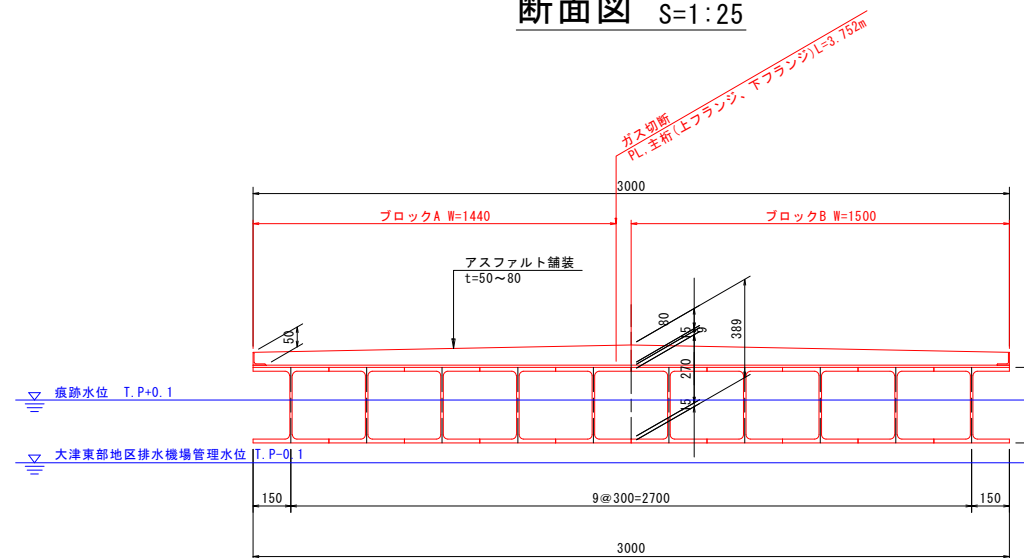
施工要領図(その2) S=1:100

徳長北6号線1号橋

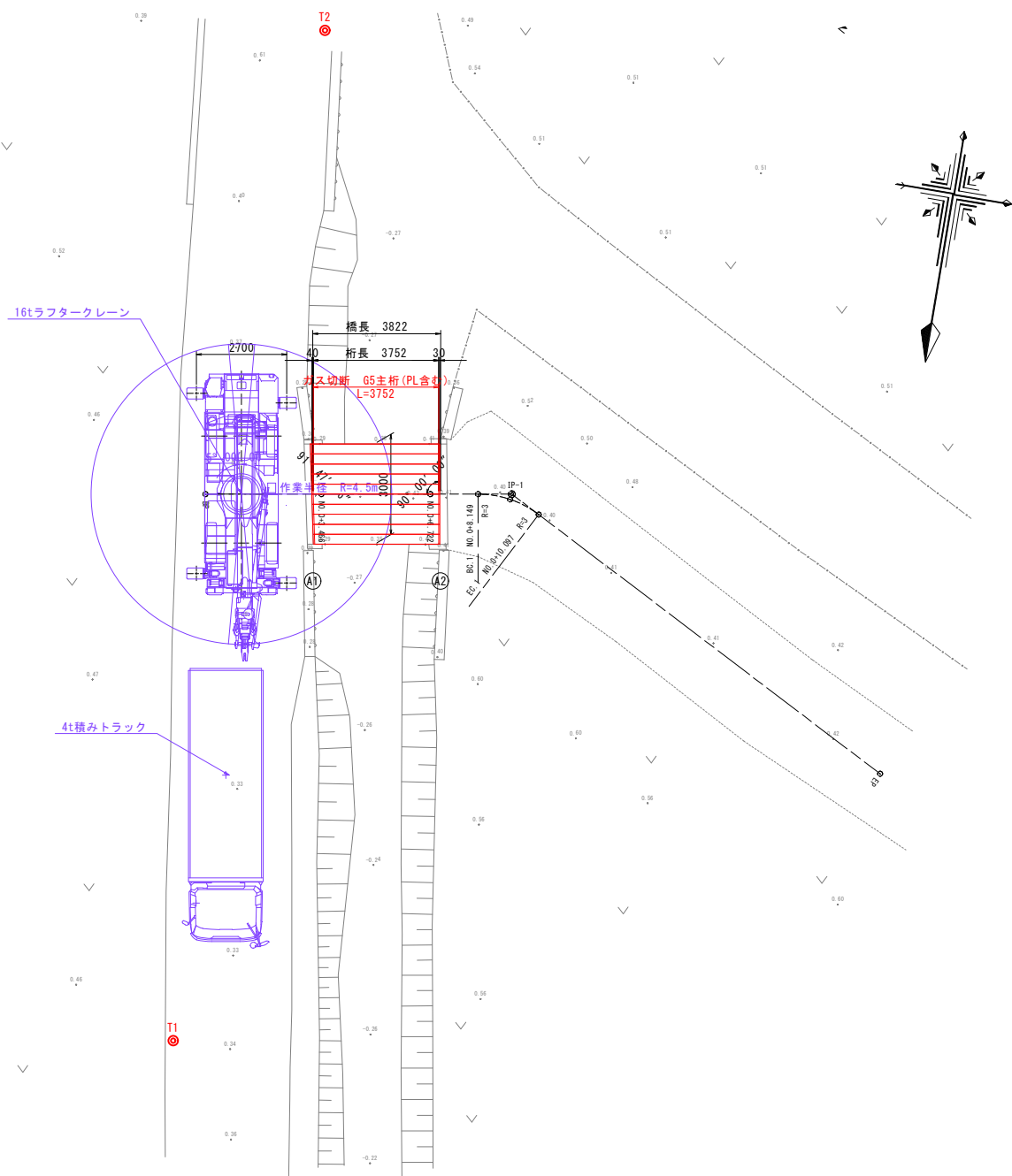
側面図



断面図 S=1:25



平面図



【施工ステップ】

- 準備工
- 舗装版撤去
- 鋼桁切断(ガス切断)
[橋軸方向]
- 鋼桁撤去
- A1・A2橋台嵩上げ
- 新設上部工架設

ラフテレーンクレーン機種の決定

桁の重量 2.18t/最大重量
 作業半径 R=4.5m
 架設位置 A1側 橋台背面より施工
 アウトリガ側方2.7m張出
 $W=2.18+0.14=2.32t/組 < Ra=4.85t(吊能力)$

[ブーム]

ブーム長さ	アウトリガ最小張出 (2.7 m) 単位 (t)					
	6.5 m	10.7 m	14.9 m	19.1 m	23.3 m	27.5 m
2.5 m	12.5	12.0	9.0	7.0		
3.0 m	9.85	9.65	8.85	7.0		
3.5 m	7.4	7.5	7.55	6.8	5.0	3.5
4.0 m	5.7	5.95	5.95	6.2	5.0	3.5
4.5 m	4.85	4.75	4.75	5.15	4.95	3.5
5.0 m	(4.4m)	3.9	3.85	4.25	4.45	3.5
5.5 m		3.2	3.15	3.55	3.75	3.5
6.0 m		2.65	2.65	2.95	3.25	3.3
7.0 m		1.85	1.8	2.15	2.4	2.5
8.0 m		1.25	1.2	1.55	1.8	1.95
9.0 m		0.95	0.75	1.1	1.35	1.5
10.0 m		(8.6m)	0.45	0.75	1.0	1.15
11.0 m				0.45	0.7	0.85
12.0 m					0.5	0.6
A (°)	0 ~ 82.5	40 ~ 82.5	43 ~ 82.5	51 ~ 82.5	57 ~ 82.5	

A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

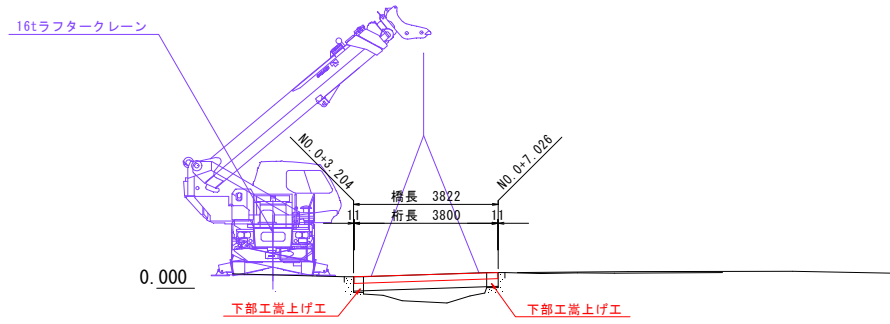
1. 現況の主桁連結状況が不明なため、舗装撤去後に主桁の連結状況(溶接等)を確認した上で撤去方法を決定すること。

図面番号	第 6 号	図面総数	全 7 葉
工事名称	徳長北6号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その2)		
製作年月	令和4年9月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長
			係員
		設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

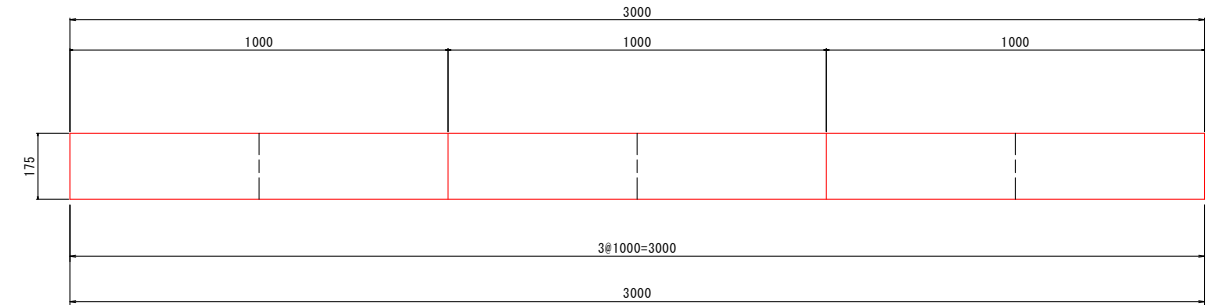
施工要領図(その3) S=1:100

徳長北6号線1号橋

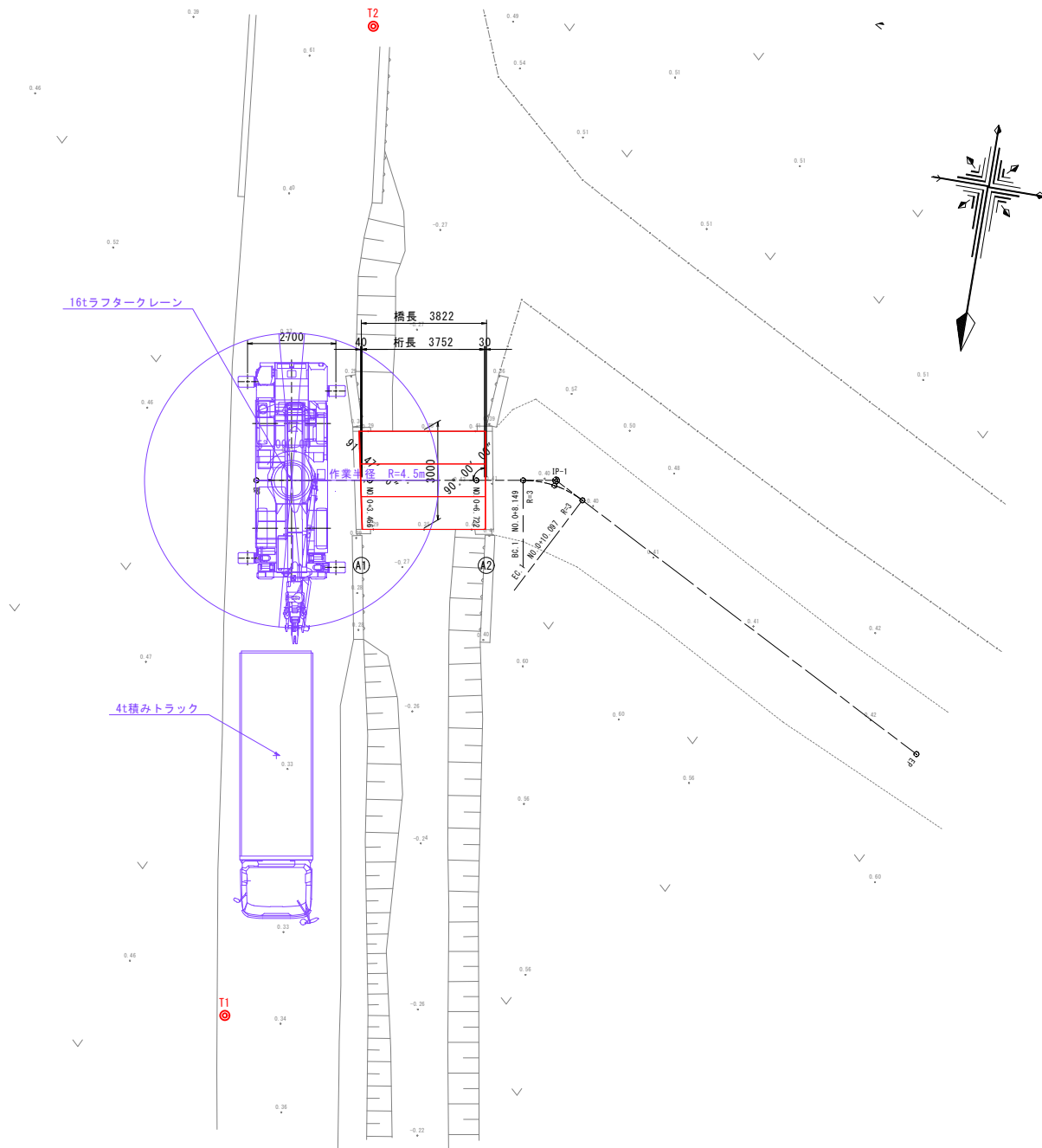
側面図



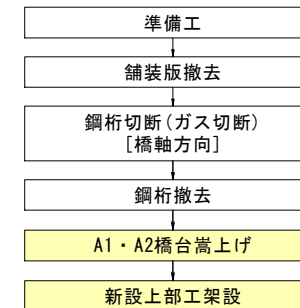
断面図 S=1:10



平面図



【施工ステップ】



ラフタークレーン機種の決定
 桁の重量 1.68t/最大重量
 作業半径 R=4.5m
 架設位置 A1側 橋台背面より施工
 アウトリガ側方2.7m張出
 $W=1.68+0.14=1.82t/組 < Ra=4.85t(吊能力)$

[ブーム]

ブーム長さ 作業整	アウトリガ最小張出 (2.7 m) 単位 (t)					
	6.5 m	10.7 m	14.9 m	19.1 m	23.3 m	27.5 m
2.5 m	12.5	12.0	9.0	7.0		
3.0 m	9.85	9.65	8.85	7.0		
3.5 m	7.4	7.5	7.55	6.8	5.0	3.5
4.0 m	5.7	5.95	5.95	6.2	5.0	3.5
4.5 m	4.85	4.75	4.75	5.15	4.95	3.5
5.0 m	(4.4m)	3.9	3.85	4.25	4.45	3.5
5.5 m		3.2	3.15	3.55	3.75	3.5
6.0 m		2.65	2.65	2.95	3.25	3.3
7.0 m		1.85	1.8	2.15	2.4	2.5
8.0 m		1.25	1.2	1.55	1.8	1.95
9.0 m		0.95	0.75	1.1	1.35	1.5
10.0 m		(8.6m)	0.45	0.75	1.0	1.15
11.0 m				0.45	0.7	0.85
12.0 m					0.5	0.6
A (°)	0 ~ 82.5	40 ~ 82.5	43 ~ 82.5	51 ~ 82.5	57 ~ 82.5	

A: ブーム角度の範囲 (無負荷時)

図面番号	第 7 号	図面総数	全 7 葉
工事名称	徳長北6号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その3)		
製作年月	令和4年9月	所属年度	令和4年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			